



平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社No.1

上場取引所 東

コード番号 3562 URL <https://www.number-1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辰巳 崇之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 竹澤 薫

TEL 03-5510-8911

四半期報告書提出予定日 平成29年10月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	3,838		129		120		77	
29年2月期第2四半期								

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 79百万円 (%) 29年2月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	51.97	47.65
29年2月期第2四半期		

(注) 1. 平成29年2月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年2月期第2四半期の業績及び平成30年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	3,539	1,543	43.6
29年2月期	2,993	1,044	34.9

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 1,542百万円 29年2月期 1,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		0.00	0.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,437	5.4	330	8.8	311	7.2	203	6.7	140.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	1,555,900 株	29年2月期	1,249,290 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	株	29年2月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	1,494,069 株	29年2月期2Q	株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善傾向を背景に企業の設備投資意欲の向上や個人消費の持ち直しにより、景気は緩やかな回復が続きました。

このような経済状況のもと、当社グループが属するOA関連商品及びそれらを取り巻く情報セキュリティ商品販売市場におきましては、平成29年5月30日に全面施行された改正個人情報保護法などの法規制やランサムウェア攻撃などの高度化するサイバー攻撃の対策に関心が高まっており、積極的な投資が増えております。

このような状況のもとで、当社グループでは、既存のOA関連商品の入替需要を取り込むことにより、販売台数が伸張いたしました。また、情報セキュリティ商品については、市場ニーズの変化に沿った商品提供により、堅調に推移いたしました。

一方で、自社企画商品の強みを活かし、更なる市場へのニーズに応えるべく、商品ラインナップの充実に向けた取組みにも注力いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,838,973千円、経常利益は120,296千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は77,648千円となりました。

なお、セグメント毎の業績は次のとおりであります。

① オフィスコンサルタント事業

オフィスコンサルタント事業におきましては、部門間の情報伝達による営業連携の強化に加え、営業稼働人数が増加したことにより、既存のOA関連商品の入替需要に対する販売が伸張し、情報セキュリティ商品が堅調に推移した結果、販売台数が増加しております。

この結果、売上高は2,636,230千円、営業利益は89,375千円となりました。

② システムサポート事業

システムサポート事業におきましては、前連結会計年度末に比べMFPのMIF（※1）が19,679台から19,871台と横這いにあるものの、引き続き1台あたりのカウンター売上が減少傾向にあるため、生産性の向上に注力いたしました。一方で、情報セキュリティ商品の保守並びにオフィス通販は堅調に推移し、収益を確保できております。

この結果、売上高は1,202,743千円、営業利益は39,701千円となりました。

※1 MIFとは、Machines In the Fieldの略称。MFP等の市場における稼働台数を指す意味として用いられます。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末比579,749千円増加し、3,107,377千円となりました。これは主に、売上拡大、新株の発行に伴う現金及び預金の増加408,665千円によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末比33,578千円減少し、432,020千円となりました。これは主に、保険解約に伴う保険積立金の減少52,261千円によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末比95,988千円増加し、1,694,039千円となりました。これは主に、買掛金の増加144,963千円によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末比49,063千円減少し、301,836千円となりました。これは主として、社債の減少40,000千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比499,247千円増加し、1,543,521千円となりました。これは主として、新規上場に伴う公募増資等により、資本金並びに資本剰余金がそれぞれ210,105千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は34.9%から43.6%に増加となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、1,634,882千円と前連結会計年度末と比べ408,665千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、57,481千円の収入となりました。これは主に、売上が堅調に推移したことにより、税金等調整前四半期純利益の計上120,296千円及び仕入債務の増加144,963千円、売上債権の増加137,927千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,776千円の収入となりました。これは主に、事務所の移転、改装に伴う有形固定資産の取得による支出18,289千円、システム開発に伴う無形固定資産の取得による支出10,666千円、保険積立金の解約による収入36,750千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、345,407千円の収入となりました。これは主に、株式の発行による収入418,222千円、社債の償還による支出48,250千円があったことによるものであります。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは、63,257千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月12日の「平成29年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,357,216	1,765,882
売掛金	907,533	1,045,461
商品	65,482	66,370
仕掛品	5,013	—
貯蔵品	5,634	5,505
その他	196,125	233,304
貸倒引当金	△9,379	△9,147
流動資産合計	2,527,627	3,107,377
固定資産		
有形固定資産	91,188	101,067
無形固定資産	13,408	22,184
投資その他の資産		
その他	422,000	369,766
貸倒引当金	△60,998	△60,998
投資その他の資産合計	361,001	308,767
固定資産合計	465,598	432,020
資産合計	2,993,226	3,539,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	474,186	619,150
短期借入金	290,000	290,000
1年内返済予定の長期借入金	10,476	1,678
1年内償還予定の社債	97,000	88,750
未払法人税等	57,107	51,612
未払金	512,924	505,051
その他	156,357	137,797
流動負債合計	1,598,051	1,694,039
固定負債		
社債	160,000	120,000
退職給付に係る負債	11,810	16,435
資産除去債務	14,248	12,905
アフターサービス引当金	14,460	22,557
その他	150,380	129,937
固定負債合計	350,900	301,836
負債合計	1,948,951	1,995,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	306,674	516,780
資本剰余金	352,344	562,450
利益剰余金	381,025	458,674
株主資本合計	1,040,045	1,537,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,161	4,473
その他の包括利益累計額合計	3,161	4,473
非支配株主持分	1,068	1,142
純資産合計	1,044,274	1,543,521
負債純資産合計	2,993,226	3,539,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	3,838,973
売上原価	2,347,891
売上総利益	1,491,082
販売費及び一般管理費	1,362,005
営業利益	129,076
営業外収益	
受取利息	966
受取配当金	175
助成金収入	360
保険解約返戻金	7,770
その他	2,462
営業外収益合計	11,735
営業外費用	
支払利息	4,364
上場関連費用	12,576
その他	3,574
営業外費用合計	20,515
経常利益	120,296
税金等調整前四半期純利益	120,296
法人税等	42,572
四半期純利益	77,723
非支配株主に帰属する四半期純利益	74
親会社株主に帰属する四半期純利益	77,648

四半期連結包括利益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 3 月 1 日 至 平成29年 8 月31日)
四半期純利益	77,723
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,312
その他の包括利益合計	1,312
四半期包括利益	79,035
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	78,961
非支配株主に係る四半期包括利益	74

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	120,296
減価償却費	12,771
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△231
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,625
アフターサービス引当金の増減額 (△は減少)	8,097
受取利息及び受取配当金	△1,142
支払利息	4,364
上場関連費用	12,576
売上債権の増減額 (△は増加)	△137,927
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,254
未払金の増減額 (△は減少)	△5,673
前受収益の増減額 (△は減少)	△23,521
仕入債務の増減額 (△は減少)	144,963
その他	△53,382
小計	90,071
利息及び配当金の受取額	1,142
利息の支払額	△4,340
法人税等の支払額	△29,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△18,289
無形固定資産の取得による支出	△10,666
貸付金の回収による収入	10,320
保険積立金の解約による収入	36,750
その他	△12,338
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△8,798
社債の償還による支出	△48,250
リース債務の返済による支出	△3,190
株式の発行による収入	418,222
上場関連費用の支出	△12,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	345,407
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	408,665
現金及び現金同等物の期首残高	1,226,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,634,882

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

当社は、株式会社東京証券取引所より上場承認を受け、平成29年3月28日をもって同取引所JASDAQ市場に上場いたしました。この株式上場にあたり、平成29年3月27日に公募増資による払込みを受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ158,884千円増加しております。

また、株式会社SBI証券が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し(貸株人から借入れる当社株式の売出し)に関連して、平成29年4月26日に同社を割当先とする第三者割当増資による払込を受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ47,665千円増加しております。

さらに、新株予約権の権利行使による新株式発行に伴い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,556千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ210,105千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が516,780千円、資本剰余金が562,450千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	オフィスコ ンサルタン ト事業	システムサ ポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,636,230	1,202,743	3,838,973	—	3,838,973
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,636,230	1,202,743	3,838,973	—	3,838,973
セグメント利益	89,375	39,701	129,076	—	129,076

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。